

使用上のご注意

- 帯域によって、製品やケーブルの損失が多少異なりますので、設計の際には製品やケーブルの規格にご注意ください。
- 引っ張り強さ0.39kN以上の金属線または直径1.6mm以上の軟銅線で正しく接地してください。正しく接地されない場合、本来の性能が保証されず、感電や火災・故障の原因となります。

規格特性

使用周波数 (MHz)	挿入損失 (dB以下)	VSWR (以下)	阻止帯域減衰量 (dB以上)	インピーダンス(Ω)		絶縁抵抗 (MΩ以上)※	絶縁耐圧 (V) ※	質量 (kg)
				入力	出力			
10~300	1.0	1.5	20	75	75	DC500V 1	AC1000 1分間	0.13
300~470	1.0	1.5	20					
470~770	1.5	1.5	20					
1032~1489	2.5	2.0	20	75	75	DC500V 1	AC1000 1分間	0.13
1489~2150	3.0	2.0	18					

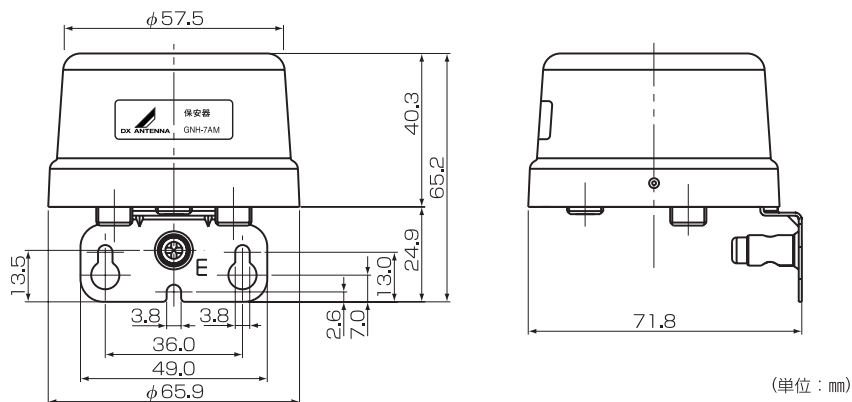
- CS/BS-IF入力端子～出力端子間通電(DC15V 0.8A以下)

※絶縁抵抗、絶縁耐圧は、対接地間のコイル、アレスタなどをはずして測定した値です。

測定端子：UV入力～出力端子間、接地～出力端子間

規格は改良により、変更させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

外形寸法図



※この製品を処分するときは、産業廃棄物として処理してください。
(カバーは取りはずすことができます。)

カスタマーセンター ☎ 0120-941-542

(受付時間 9:30~12:00/13:00~17:00 土曜・日曜・祝日および夏季・年末年始休暇は除く)

携帯電話・PHS・一部のIP電話で上記番号がご利用にならない場合 03-4530-8079

ホームページアドレス <http://www.dxantenna.co.jp/>

DXアンテナ株式会社 本社/〒652-0807 神戸市兵庫区浜崎通2番15号 (2011年2月)

取扱説明書

このたびはDXアンテナ製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。



DXアンテナの製品を正しく理解し、ご使用いただくために、
ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。
お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保存してください。

共同受信用混合回路付保安器 (CS/BS-IF+UV・HF混合回路付) GNH-7AM

製品の特長

- 10~770MHzのUHF・VHF・HF(CATV)帯信号と、1032~2150MHzのCS/BS-IF信号を混合します。
- 出力端子とCS/BS-IF帯入力端子間は通電仕様で、CS/BSアンテナなどへ通電することができます。

安全上のご注意



△記号は注意(危険・警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容(左図の場合は警告または注意)が描かれています。



○記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は注意して行なってください)が描かれています。



警告 この内容が無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- テレビ受信関連工事には技術と経験が必要です。お買い上げの販売店もしくは工事店にご相談ください。



- 高所などに設置する場合は、足場と安全を確保して行なってください。落ちたり、すべったりしてけがの原因となります。



- この製品を煙突の付近や高温になる場所には設置しないでください。燃えたりして、火災や破損の原因となります。



- この製品に接続する同軸ケーブルには電流が流れることがありますので、途中には通電形機器以外を挿入しないでください。回路やケーブルがショートして、火災や感電の原因となります。もし、通電形機器を挿入する場合は、通電端子をよく確かめてお使いください。



- この製品に接続する同軸ケーブルには、テレビ電波以外に電流が流れることがあります。同軸ケーブルを傷つけたり、無理に曲げたり、ねじったりしないでください。火災・感電の原因となります。



- この製品に接続する同軸ケーブルには、電流が流れることがありますので、同軸ケーブルの接続などで心線と編組が接触しないようにしてください。火災や感電の原因となります。



- 雷が鳴り出したら、この製品には触れないでください。感電の原因となります。



⚠ 注意

この内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- この製品のケースを開けたり、分解したりしないでください。また、お客様による修理や改造はしないでください。けがの原因となりますし、性能維持ができなくなり、故障の原因となります。



- この製品に接続する同軸ケーブルを傷つけたり、無理に曲げたり、ねじったりしないでください。故障の原因となることがあります。



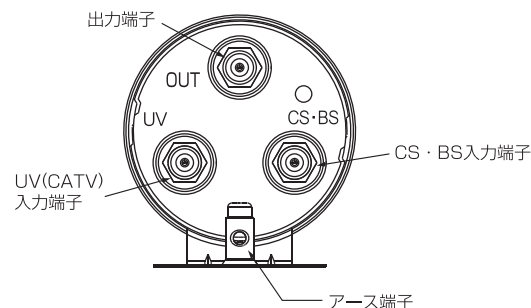
- 取り付けネジや、ボルトや接栓は、締め付け力(トルク)に指定がある場合はその力(トルク)で締め付け、堅固に取り付け固定してください。落下や破損して、感電やけがや故障の原因となります。



お取扱いの前に

- 設置作業は、この取扱説明書をよくお読みのうえ、行なってください。
- この製品にはステンレス鋼を使用しています。使用状況により表面が錆びることがありますが、強度の劣化はありません。
- この製品のケースを開けたり、分解したりしないでください。(通常使用時)

各部の名称

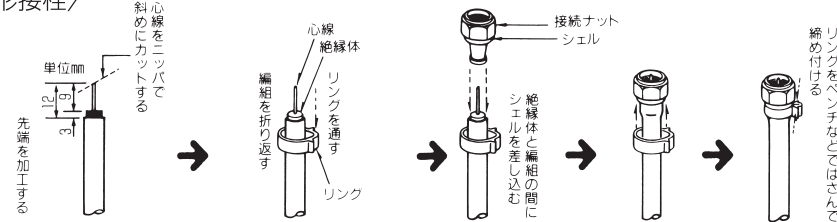


付属品

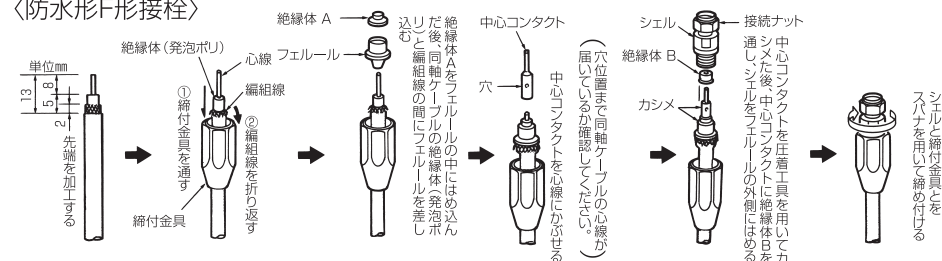
- ・防水キャップ……………3個
- ・木ネジ……………3本

接栓(別売)への同軸ケーブルの接続方法

〈F形接栓〉



〈防水形F形接栓〉



- 同軸ケーブルの先端処理をする場合、心線、編組に傷をつけると断線の原因になりますからご注意ください。
- 接栓を取り付けた同軸ケーブルの心線が曲がっていないかどうかよく確かめ、また心線を曲げないように接続してください。

- 設置後、同軸ケーブルが抜けたりしないようリングをしっかり締め付けてください。
- 上記説明図は、5C相当同軸ケーブル用接栓の加工例です。接栓はケーブルの種類に適合するものをご使用ください。

取付方法

この製品は、右図のように、板壁に付属の木ネジで取り付けてください。

※この製品と取付部との絶縁のために、市販の保安器取付板のご使用をおすすめします。

- 入力端子(IN)に接続する接栓は、接続する同軸ケーブルに適合する別売の防水形F形接栓をご使用ください。
- 入出力端子へのF形接栓の接続は、接続ナットを2N・mで締め付けてください。(2N・mを越えるトルクでは締め付けしないでください。)
- 保安器本体を引っ張り強さ0.39kN以上の金属線または直径1.6mm以上の軟銅線で正しく接地してください。正しく接地されない場合、本来の性能が保証されず、感電や火災・故障の原因となります。

